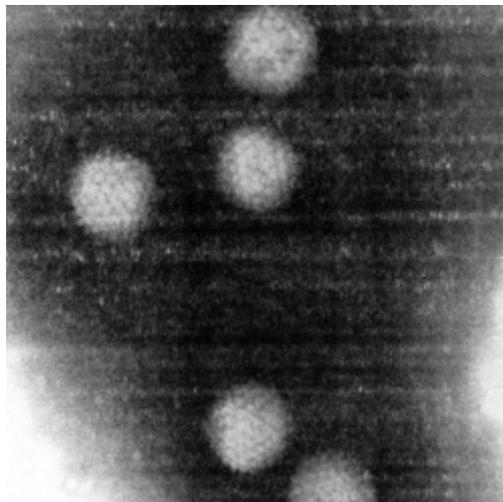


**ハイジェニックスの製品は、
北里大学獣医学部・宝達教授の協力を得て開発！！**

ニューバクテリアウト・バクテリアウトノロは、ノロウイルス・ヘルペスウイルスや食中毒原因菌などの高除菌力を研究。その成果を活かした製品です。

■エンベローブ(脂質膜)を持たない

正20面体の構造を持つウイルスの電子顕微鏡画像



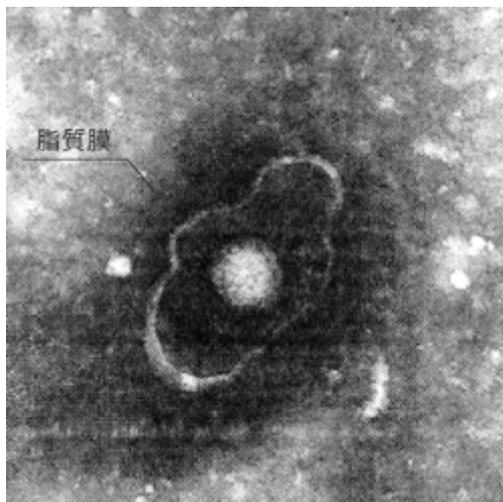
※ノロウイルスは純粋培養ができないため、同じウイルス科に属するネコカリシウイルスを代替に用いて試験しています

[エンベローブ(脂質膜)を持たない代表的なウイルス名]

- カリシウイルス
- ノロウイルス
- サポウイルス
- ロタウイルス
- ポリオウイルス
- アデノウイルス
- パピローマウイルス
- E型肝炎ウイルス
- アストロウイルス
- エンテロウイルス

■エンベローブ(脂質膜)を持つ

正20面体の構造を持つウイルスの電子顕微鏡画像



[エンベロープ(脂質膜)を持つ代表的なウイルス名]

- ヘルペスウイルス
- インフルエンザウイルス
- 風疹ウイルス
- エイズウイルス
- 狂犬病ウイルス
- エボラウイルス
- ラッサウイルス
- デングウイルス
- SARSコロナウイルス
- デルタ肝炎ウイルス

※電顕画像：資料提供／北里大学獣医学部

※比べてみてほしいことがあります！！

【平成27年 ノロウイルスの不活化条件に関する調査報告書】

の15ページ（表5の反応後力価 負荷剤なしの欄）と下記の数値をご覧ください。数値の違いに納得していただけるものと思います。

※一部端末によってはリンク先がご覧いただけない場合がございます。

ニューバクテリアウトによる不活化効果についての試験結果

北里大学獣医学部

※ノロウイルスは人工培養ができないため、同じウイルス科に属するネコカリシウイルスを代替に用いて試験しています。

※数値はウイルス値(ウイルスの数を示す係数)です。

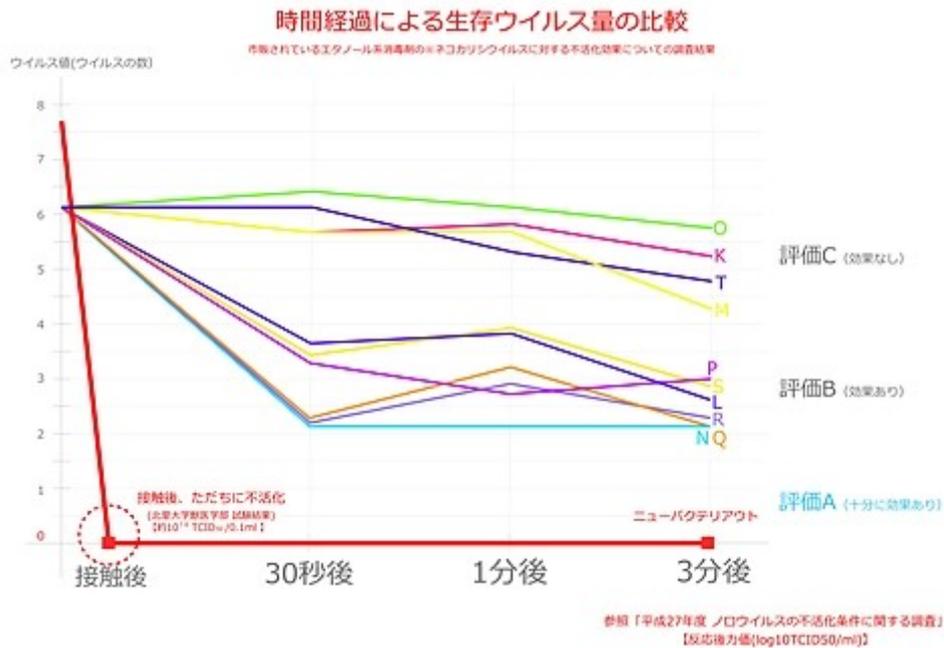
■ネコカリシウイルス

(接触前) 7.6	接触後、ただちに不活化（カウント無、0分） <0（検出せず）
--------------	---

■ネコヘルペスウイルス

(接触前) 7.3	接触後、ただちに不活化(カウント無、0分) <0 (検出せず)
--------------	--

時間経過による生存ウイルス量の比較



ニューバクテリアウトによる通常の食中毒に対する除菌効果試験結果

(財) 日本食品分析センター

■大腸菌

開始時生菌数 (／ml) 6.9×10 ⁵	15秒後 <10 (検出せず)
-------------------------------------	------------------------------

■サルモネラ菌

開始時生菌数 (／ml) 5.4×10 ⁵	15秒後 <10 (検出せず)
-------------------------------------	------------------------------

■黄色ブドウ球菌

開始時生菌数 (／ml) 6.3×10 ⁵	15秒後 <10 (検出せず)
-------------------------------------	------------------------------

■緑膿菌

開始時生菌数 (／ml) 6.0×10 ⁵	15秒後 <10 (検出せず)
-------------------------------------	------------------------------

下記のように、ニューバクテリアウトは
水：エタノールの噴霧スプレーに比べて、アンモニア（尿）とトリメチルアミン（生魚）の2種類に対して、噴霧5分後、驚きの消臭効果が確認できました。

1/1
No. 2017-1822
平成29年12月13日

株式会社 ハイジエニックス 御中

大和サービス㈱ 測定事業部



題名:消臭効果試験結果

この度、御社より調査依頼のありました標記の件につきまして、ご報告申し上げます。

記

1. 内容

調査依頼日：平成29年11月27日

調査品受領日：平成29年11月27日

調査実施者：においテクニカルセンター 原田

受領サンプル
ニューバクテリアウト

2. 対象とした悪臭物質

- ・アンモニア (設定濃度:20ppm 使用検知管No:3L)
- ・トリメチルアミン (設定濃度:20ppm 使用検知管No:180, 180L)

3. 分析方法

バルブ+ポリプロピレン不織布を10cm×10cmにカットし、設定濃度になるように悪臭物質を添加しました。悪臭物質を添加したバルブ+ポリプロピレン不織布をアルミホイルに包み5分間静置後、ニューバクテリアウトと比較として水：エタノール(40:60)を噴霧回数3回分を噴霧し、2Lのデドラーバックに入れ、窒素ガスで満たし、5分後に検知管にて測定しました。イニシャルとして悪臭物質を添加したバルブ+ポリプロピレン不織布をアルミホイルに包み5分間静置後、2Lのデドラーバックに入れ、窒素ガスで満たし、5分後に検知管にて測定しました。

4. 分析結果

(1) 水素イオン濃度 (pH)
2.72

(2) 対象物質濃度

物質名	アンモニア		トリメチルアミン	
	水:エタノール	ニューバクテリアウト	水:エタノール	ニューバクテリアウト
イニシャル	22.0		20.0	
5分後	13.0	<0.5	5.0	<0.5
検知限度	0.5		0.5	

単位:ppm

5. まとめ

今回の調査結果では、ニューバクテリアウトを噴霧することで、水：エタノールに比べ2物質の消臭効果が確認できました。

—以上—

消臭効果の試験結果 (通常のエタノール製剤との比較)

※大和サービス株式会社による試験結果

